

Harmony among People,
Technology, and Environment.



株主の皆様へ

第88期 営業のご報告

令和 2 年 4 月 1 日から
令和 3 年 3 月 31 日まで

CONTENTS

企業理念	1
トップメッセージ	1
連結財務ハイライト	1
事業別の概況	4
連結財務諸表	5
会社情報	6



高圧ガス工業株式会社

証券コード 4097



高圧ガス工業グループ 企業理念

1. 「人と技術と環境の調和。無限の可能性に挑む。」という理念のもと、「創業の精神を忘れずに、アセチレンバウム（アセチレンの樹）の夢を追い求めて、限りない可能性の炎を燃やし続ける」グループ企業をめざします。
2. 「株主」及び「取引先」各位ならびに「従業員」を三位一体と考え、公正妥当な倫理基準に基づいた事業活動を通じて、社会に貢献できる経営を行ないます。
3. 全般的な経営の効率化を地道に推進し、企業体質の健全性を維持しながら、企業価値を高め、事業規模の拡大をはかります。
4. 「安全・安心をすべての基本姿勢」とし、創業以来一貫して、この姿勢を貫いております。
5. 「地域に密着した企業ブランド」を構築し、存在感のあるグループ企業をめざします。

この企業理念は、高圧ガス工業グループ企業共通の認識であり、全社一丸となって実現に努めてまいります。

トップメッセージ



代表取締役社長

黒木 幹也

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り有難く厚く御礼申し上げます。

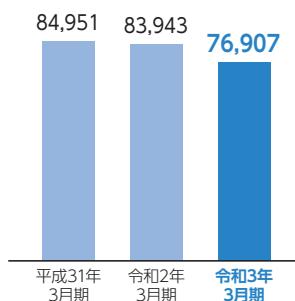
当社グループの第88期（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の営業の概況等につきましてご報告申し上げます。

令和3年3月期の業績概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の停滞が続くなか、一

連結財務ハイライト

売上高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



時持ち直しの動きが見られたものの、感染の再拡大により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなかで、当社グループは市場が求める安全・安心な製品やサービスを供給することを基本とし、安定的な収益確保に向けた販売体制の強化や生産体制の効率化に取り組んでまいりました。その結果、当連結会計年度の売上高は769億7百万円(前期比8.3%減少)、営業利益は41億89百万円(前期比18.5%減少)、経常利益は47億71百万円(前期比18.1%減少)、親会社株主に帰属する当期純利益は35億19百万円(前期比7.5%減少)となりました。

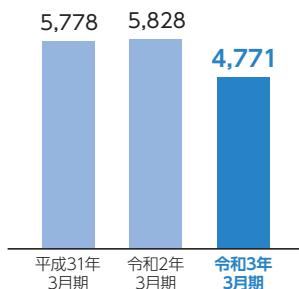
次期の見通しと今後の取り組みについて

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界的な経済活動の停滞により、国内景気の悪化が懸念される不透明な状況が続くものと思われます。このような状況のもと、当社グループは、いち早い業績回復を最優先課題とし、前中期経営計画「チェンジ&チャレンジ'20」において実行した重点施策を基に、新中期経営計画「チェンジ&チャレンジ stage II」では、「人と技術と環境の調和」という企業理念のもと、持続的成長に向けた5つの成長戦略である「事業拡大」・「人材育成」・「機能整

備」・「戦略投資」・「社会調和」の着実な実行により、急速に変化する事業環境にも対応することができる経営基盤を構築し、さらなる企業価値の向上をはかってまいります。

ガス事業は、ユーザーの変化に対応すべく、当社グループ各社との連携を一層深めながら、地域に根付いた事業展開によりシリンドーガスビジネスのさらなる収益力の強化をはかるとともに、安全・安心を第一に掲げ、技術力の向上に努め、事業場の新設や統合、改修、新規設備の導入や容器の投入により安定供給及び物流の合理化を進め、事業拡大をはかってまいります。また、新たな事業展開を目指し、積極的なM&A、真空浸炭向け溶解アセチレン、エアゾールガス、農業用炭酸ガスの新規需要先の獲得や食品、溶接等多岐にわたるユーザーの開拓を進めるとともに、カーボンニュートラル社会へ向け期待されている燃焼時にCO₂を出さない液化アンモニアや環境に配慮した新冷媒ガスの拡販など、新しい用途やアプリケーションの提案を行なってまいります。土浦研究所では、産学共同連携を推進し、水素蓄圧器などの各種容器の開発による他社製品との差別化やカーボンナノチューブなど付加価値の高い製品の市場投入、量産化技術の確立を目指してまいります。また、海外展開においては、資本参加したベトナムの高圧ガス事業会社を拠点に東南アジア地域への販路を開拓してまいります。

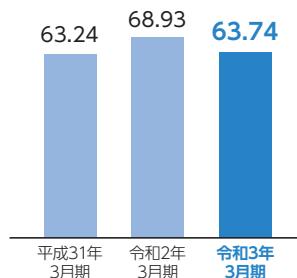
経常利益 (単位:百万円)



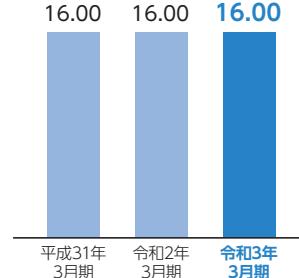
親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



1株当たり配当金 (単位:円)



化成事業は、IT化による業務の効率化、原料・製品在庫の最適化、容器管理、製造・物流の合理化を行なうとともに、BCPに対応した購買体制、生産体制の構築や、収益力の強化と安定供給の確保をはかり、品質面では、研究開発、営業開発に力を入れ、環境にやさしい製品の提供に努めてまいります。国内接着剤市場においては、住宅設備、自動車、弱電、医療分野へ積極的に新製品を投入し、新たな用途を創出し、高付加価値品の展開をはかるとともに、当社グループのネットワークを活かし、新規ユーザーの開拓を行なってまいります。また、雨音、振動を低減させる効果のある制振材「サウンドプルーフ」は快適な生活環境の提供を目的としており、公共の施設をはじめ、遮音性が求められる建物等向けに拡販してまいります。塗料市場においては、既存住宅の改修需要に対応した、外壁サイディングボード用の「WBアートSi」・「ウォールバリアシリーズ」・「ビーズコート」、屋根用の「ルーフバリア」の拡販を推し進めるとともに、ユーザーニーズに合った製品の開発を進めてまいります。エアゾール市場においては、生産能力を拡充させ、グループ会社との連携もはかりながら多種多様な用途への展開を目指してまいります。海外市場においては、ベトナム工場を製造・営業の拠点として活用し、中国・東南アジアへの市場開拓を進めてまいります。

その他事業は、ITソリューション事業において、鉄道業界、産業機器業界を主な営業対象とし、表示機能を搭載したLSIカード、ディスプレイタグ等の電子ペーパー応用製品、RFタグ関連製品及び画像記録装置等のさらなる拡販を進めてまいりますと

令和4年3月期 連結業績予想

売上高	750 億円
営業利益	47 億円
経常利益	52 億円
親会社株主に帰属する当期純利益	38 億円

※令和4年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」等を適用するため、連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

ともに、IoT分野への企画・提案を積極的に行ない、新規開拓をはかってまいります。また、食品添加物事業では、食品業界に限らず、他の幅広い業界との協業により、国内外で新たな価値を創出し拡販してまいります。

株主還元について

株主還元につきましては、株主様に対する安定的かつ継続的な配当を維持しつつ、内部留保の充実により企業体質を強化し、長期的に企業価値の向上をはかることを基本方針とし、経営成績・財務状況・今後の事業展開などを総合的に勘案し決定しております。

当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき普通配当金8円とさせていただきます。令和2年12月10日に1株につき金8円を中間配当金としてお支払しておりますので、1株につき年間合計16円となります。

今後も株主様への安定的かつ継続的な利益還元に努めてまいります。

株主の皆様へ

当社グループといたしましては、引き続き「安全」・「安心」をすべての基本姿勢として、経営環境の変化に柔軟に対応できる企業体質を構築し、既存事業の拡充と新たな価値の創出に積極的に取り組むとともに、社員一人ひとりが持つ能力を最大限発揮し成長することができるための企業風土の醸成ならびに組織体制の整備をはかり、組織の活性化に努めてまいります。

また、企業理念、企業倫理行動指針に基づいたコーポレート・ガバナンス体制の整備と強化に真摯に取り組んでまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

事業別の概況



ガス事業

売上高 **572億98** 百万円
営業利益 **41億28** 百万円



売上高 (単位:百万円)
令和3年3月期 **57,298**
令和2年3月期 63,013

営業利益 (単位:百万円)
令和3年3月期 **4,128**
令和2年3月期 5,129

ガス事業では、生産・販売体制の合理化、安全・保安対策の強化、既存設備の更新などの投資を行ない、地域に密着した営業に努めてまいりました。

『溶解アセチレン』は、鉄鋼、自動車、造船向けの需要の減少と建設、土木における現場工事の一時停止や着工の延期などにより需要が減少し、売上高は前期を下回りました。『その他工業ガス等』は、酸素が現場工事及び医療向けの減少、アルゴンが溶接向けの減少、炭酸ガスが溶接及び食品向けの減少、また、LPガス等の石油系ガスが外食産業などの需要の減少と輸入価格の下落に伴う販売価格の低下により、売上高は前期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備工事や工作機械等の受注が減少し、売上高は前期を下回りました。『容器』は、半導体向けステンレス容器が減少し、売上高は前期を下回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は572億98百万円(前期比9.1%減少)となりました。営業利益は、41億28百万円(前期比19.5%減少)となりました。



化成品事業

売上高 **168億76** 百万円
営業利益 **14億76** 百万円



売上高 (単位:百万円)
令和3年3月期 **16,876**
令和2年3月期 17,872

営業利益 (単位:百万円)
令和3年3月期 **1,476**
令和2年3月期 1,316

化成品事業では、新しい技術の開発に注力し、環境にやさしい製品や付加価値の高い製品の開発に努めてまいりました。

『接着剤』は、ペガールが新製品の開発により、紙用接着剤及びDIY向け塗料用が増加したものの、その他塗料用、土木用、粘着用、繊維用が減少、また、シアノンが東南アジア向けが増加したものの、北米、南米向けが減少、ペガロックが国内、海外向けの需要が減少し、売上高は前期を下回りました。『塗料』は、建築用塗料が高機能品の「ウォールバリアシリーズ」や新製品の「ルーフバリアシリーズ」などの伸長があったものの、経済活動の制限や長雨の影響による改修工事の延期により汎用塗料が減少、また、エアゾール製品の需要が減少し、売上高は前期を下回りました。

このほか『設備賃貸』の収入を加えた当事業の売上高は168億76百万円(前期比5.5%減少)となりました。営業利益は、14億76百万円(前期比12.1%増加)となりました。



その他事業

売上高 **27億32** 百万円
営業利益 **△8** 百万円



売上高 (単位:百万円)
令和3年3月期 **2,732**
令和2年3月期 3,057

営業利益 (単位:百万円)
令和3年3月期 **△8**
令和2年3月期 6

その他事業は、食品添加物事業が生活様式の変化に伴ない、外食、土産品等の需要が減少しました。また、ITソリューション事業は、ディスプレイタグ、医療用特殊RFタグが新規に採用されたものの、LSIカード関連が国内、海外向けの需要が減少し、売上高は27億32百万円(前期比10.6%減少)、営業損失は8百万円(前期は6百万円の営業利益)となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

	第87期 (令和2年3月31日現在)	第88期 (令和3年3月31日現在)	増減額
流動資産	50,022	49,839	△183
固定資産	37,470	42,570	5,100
流動負債	23,442	23,163	△279
固定負債	5,220	5,834	614
純資産	58,829	63,412	4,582
総資産	87,492	92,410	4,917

連結損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

	第87期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	第88期 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)	増減額
売上高	83,943	76,907	△7,036
営業利益	5,141	4,189	△951
経常利益	5,828	4,771	△1,057
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,805	3,519	△286
1株当たり当期純利益	68円93銭	63円74銭	△5円19銭

連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位:百万円)

	第87期 (自平成31年4月1日 至令和2年3月31日)	第88期 (自令和2年4月1日 至令和3年3月31日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	5,159	4,961	△198
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,339	△3,575	764
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,003	△988	15
現金及び現金同等物 の期末残高	20,737	21,156	418

期末配当

期末配当金は当社普通株式1株につき金8円となりました。

期末配当金 1株につき金8円 総額441,634,496円

支払開始日 令和3年6月25日

(注)記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社情報

会社概要 (令和3年3月31日現在)

商号	高压ガス工業株式会社
設立	昭和33年6月26日
資本金	28億85百万円
従業員	846名
本社	大阪市北区中崎西二丁目4番12号 (梅田センタービル28階) 電話06(7711)2570(代表)
東京事務所	東京都千代田区内幸町一丁目2番1号 (日土地内幸町ビル9階) 電話03(3595)3128(代表)
営業所	21カ所
出張所	4カ所
工場	15カ所(ガス事業) 3カ所(化成品事業)
研究所	2カ所

役員 (令和3年6月24日現在)

取締役

取締役会長	澁谷 信雄	取締役常勤監査等委員	松井 良祐
代表取締役社長	黒木 幹也	社外取締役監査等委員	笹野 哲郎
代表取締役副社長	説田 和洋	社外取締役監査等委員	山村 忠夫
取締役	杉岡 孝雄	社外取締役監査等委員	長島 広明
社外取締役	吉高 紳介		

執行役員

社長執行役員	黒木 幹也	執行役員	磯田 光功
副社長執行役員	説田 和洋	執行役員	野杵 達也
専務執行役員	杉岡 孝雄	執行役員	加藤 尊康
専務執行役員	森本 孝	執行役員	中村 顕
専務執行役員	森田 和博	執行役員	岡本 健二
常務執行役員	池田 佳弘	執行役員	福井 雅則
常務執行役員	福井 正郎	執行役員	高山 昭彦
執行役員	大北 隆行	執行役員	中村 貴雄
執行役員	片岡 一夫		

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

株式の状況 (令和3年3月31日現在)

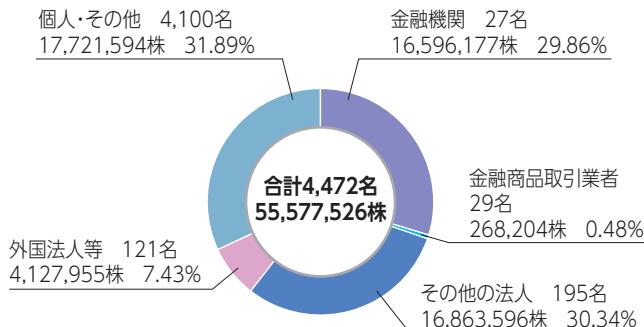
発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式総数	55,577,526株
株主数	4,472名(前期末比205名増加)

大株主 (令和3年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
デンカ株式会社	6,906	12.51
こうあつ共栄会	6,859	12.42
共栄火災海上保険株式会社	4,003	7.25
日本酸素ホールディングス株式会社	3,142	5.69
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	2,717	4.92
株式会社三菱UFJ銀行	2,471	4.47
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,157	3.90
高压ガス社員持株会	1,643	2.97
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,139	2.06
北陸工業瓦斯株式会社	886	1.60

(注)持株比率は、自己株式(373,214株)を控除して算出しています。

所有者別株式分布状況 (令和3年3月31日現在)



株主メモ

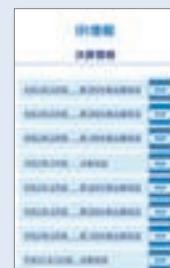
事業年度末日 毎年3月31日
定時株主総会 毎年6月
定時株主総会基準日 毎年3月31日
剰余金配当基準日 期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
上場証券取引所 東京市場第1部
1単元の株式の数 100株
株主名簿管理人 〒100-0005
(特別口座管理機関) 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部

お問い合わせ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
電話 (通話料無料) 0120-094-777

手続き用紙のご請求 住所変更や配当金振込先のご指定など、株式に関する諸手続きに関しましては、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。

ご所有の株式を特別口座にて管理している株主様につきましては、特別口座管理機関である三菱UFJ信託銀行(上記の「お問い合わせ先」)にお問い合わせください。なお、一部の書類については三菱UFJ信託銀行のホームページ<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>から取り出し、請求することができます。

公告方法 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告掲載URL
<https://www.koatsugas.co.jp/>



当社Webサイトで各種情報を公開しております。
ぜひ、ご覧ください。

<https://www.koatsugas.co.jp/>



高圧ガス工業

検索



高圧ガス工業株式会社

大阪市北区中崎西二丁目4番12号(梅田センタービル28階)
電話 06 (7711) 2570 (代表)
<https://www.koatsugas.co.jp/>



UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。